

2014年薬学部第2問

2 Oを原点とする xy 平面上に円 $C: x^2 + y^2 = r^2$ と放物線 $D: y = \frac{1}{2}x^2 - t$ がある。ただし r と t はそれぞれ正の実数の定数とする。点 $(0, -55)$ から放物線 D に傾きが正の接線を引くとき、その接線の傾きは $3\sqrt{6}$ である。放物線 D 上には x 座標がそれぞれ $-4\sqrt{3}$, $4\sqrt{3}$ である点 P , Q があり、円 C はこの2点 P , Q を通る。このとき、

(1) $t = \boxed{40} \boxed{41}$ である。

(2) $r = \boxed{42}$ である。

(3) 円 C と2線分 OP , OQ で囲まれる2つの扇形のうち、 $\angle POQ$ が π より小さい方の面積は $\frac{\boxed{43} \boxed{44}}{\boxed{45}} \pi$ である。

(4) 円 C と放物線 D で囲まれた図形のうち、

$$\begin{cases} x^2 + y^2 \geq r^2 \\ y \geq \frac{1}{2}x^2 - t \end{cases}$$

で表される図形の面積は $\boxed{46} \boxed{47} \boxed{48} \sqrt{\boxed{49}} - \frac{\boxed{50} \boxed{51}}{\boxed{52}} \pi$ である。